

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連
江南厚生病院

Vol.48
2020.1

病院理念

- 一. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



江南厚生病院の日の出



1. 新年のごあいさつ

2. 救急外来が拡張されました・ドクターカーの出動について

トピックス

新たな認定看護師が誕生しました！
ご存知ですか？「フレイル」
お仕事紹介
～臨床検査技術科～

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

看護師・助産師募集／公開医療福祉講座／がんサロン「にじの会」のご案内
土日完全週休二日制実施に伴う診療日変更について／診療日カレンダー

新年のごあいさつ



江南厚生病院 院長 齊藤 二三夫

新年あけましておめでとうございます。江南厚生病院は、尾張北部医療圏の北部地域（江南、扶桑、大口、犬山、岩倉）の皆様が、この地域で高度先進医療を受けることができるよう、平成 20 年 5 月に尾北地域最大規模の病院として新規開院しました。地域の皆様の温かいご支援により、今年で 12 年目を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。

開院以来、救急車の搬送件数は年々増加し、現在 3 市 2 町における 7 割以上が当院に搬送されており、年間 7,500 件を超えています。毎年の救急患者数の増加に対応するために、昨年秋に救急外来の拡張工事を行いました。また、ドクターカーを導入し、救急科の専門医が救急現場に出向き、治療を行う体制を整えました。今後も地域の皆様が安心して生活できるよう、地域の医療機関や行政と連携し、救急医療体制を充実させてまいります。

昨年 11 月には長年の地域医療における実績が認められ、愛知県より「地域医療支援病院*」の承認を受けました。この地域における基幹病院として、近隣医療機関との連携を更に深め、必要な患者さんには入院時より退院支援を開始して、切れ目のない医療を行っていくとともに、在宅医療を受けられている患者さんの急変時の対応など、引き続き 24 時間 365 日断らない医療を担ってまいります。

病院設備については、2 年前より高額医療器機をはじめ開院時に導入した機器類の更新を行っています。令和 2 年度で概ね完了しますが、今後も最新医療機器を積極的に導入し、各センター機能を中心に高度専門医療を提供していく計画です。

国は、団塊の世代が後期高齢者となり医療ニーズの急増が見込まれる 2025 年、高齢者人口が最大となる 2040 年に向かい、1) 地域医療構想の実現、2) 医師・医療従事者の働き方改革の推進、3) 実効性のある医師偏在対策の着実な推進を三位一体で推進していく方針です。当院としては、地域の医療機関との役割分担や必要な機能の整備を行っていくとともに、2024 年より開始される医師の働き方改革に沿い、当院医師の健康管理や勤務環境の改善を行い、より安全で確実な医療を継続していきます。

これからも職員一同気を引き締めて安心・安全な診療を行い、病気で不安状態の患者さんが少しでも安らげるような病院として、ホスピタリティーの向上も図ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

*「かかりつけ医」を支援し、専門外来や入院、救急医療など地域医療の中核を担う体制を備えた病院



救急外来が拡張されました



副院長 兼 第4診療部長
兼 救命救急センター長
兼 救急科代表部長

竹内 昭憲

昨年秋、救急外来の拡張工事（救急処置ベッド4床増床、面談室の増設）を行い、11月末に竣工しました。従来の救急外来は、救急処置ベッド4床（うち陰圧室1床）、外来診察室4室（うち小児専用1室）、観察室9床で構成されていました。

当院は開院して12年目となります。従来の救急外来は、救急車搬送台数が3～4千台/年の当時に設計されたものですが、昨年度は7,458台と増加傾向です。地域の住民や医療機関に信頼される病院を目指すために、傷病者の受け入れ要請を断らない方針で運営していることもあり（応需率99.9%）、複数の傷病者をほぼ同時に受け入れる事もしばしばあります。そのような時は4床の救急処置ベッドではならず、通路に傷病者のストレッチャーを置いて診療していますが、処置ベッドが増えることでこの状況を解消できることが期待されます。また災害拠点病院としても、災害時に多数傷病者が発生した時にも救急処置室で重症患者の対応ができるものと考えています。



ドクターカーの 出動について



救急看護認定看護師 鈴木 千恵



当院では、2019年4月よりドクターカーの運用を開始しています。ドクターカーは救急車と同様に赤色灯とサイレンが備えられており救急車同様緊急走行を行います。一刻も早く救急現場に医師が駆けつけ、直ちに初期診療を開始することで傷病者の病態悪化を防ぎ、救命率の向上を目的としています。また、当院では診療をスムーズに進めるために、医師だけでなく、看護師と救命士も同乗しチームで活動しています。

ドクターカーの出動は、病院と消防機関の取り決めに従って行うため、市民の方からの直接要請はできません。現場到着後には救急隊と協働し1分、1秒を争う重症傷病者の処置と検査、ご家族の対応を行い、救急車で傷病者とともに病院へ向かいます。生命維持ができるよう医療提供し、傷病者の「生きる」ことを支えることと、早期に治療を行うことで、傷病者が地域に戻り生活ができるよう「生きる」ことを支える先駆けになるよう活動しています。

市内でドクターカーを見かけたら優先走行へのご配慮、ご協力をお願い致します。



新しい分野の認定看護師が誕生しました！

近年、高度化・専門化が進む医療の現場において、水準の高い看護が求められています。

認定看護師とは、専門的な治療や看護が必要な患者・家族に対して最適な看護は何か、認定看護分野の専門知識に基づき判断し、実践する看護師を指します。また、他の看護師に対し、自らが手本となり専門知識や看護技術などを指導し、水準の高い看護を行えるように働きかけたり、看護の現場で直面する問題や疑問の相談にのり、改善策を導き出せるように支援します。現在、救急看護・感染管理・認知症・皮膚排泄ケアなど21の認定看護分野があり、認定看護師になるには一定期間の専門的な教育を受け、日本看護協会の認定試験に合格しなければなりません。

当院では救急看護、皮膚排泄ケア、がん化学療法、がん性疼痛、訪問看護、感染管理、手術看護、小児救急、認知症看護、慢性心不全10分野15名の認定看護師が活動しており、今年度には、新たに「集中ケア」「脳卒中リハビリテーション」の2分野が増え、12分野19名の認定看護師が活躍しています。

集中ケアは、生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防、廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施を役割としています。脳卒中リハビリテーションは、脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングとケア、活動性維持・促進のための早期リハビリテーション、急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援を役割としています。

これからも地域の中核病院として、専門性の高い医療と、水準の高い看護が提供できるよう努めていきたいと思えます。



ご存知ですか？「フレイル」 ～フレイル予防は20歳から！～

フレイルとは、年齢に伴って筋力や心身の活力が低下した状態をいいます。75歳以上の方で要介護状態となる原因の1位はフレイルです。フレイルの原因は、閉じこもり・栄養状態が悪い・筋力の低下・口の機能低下・意欲や判断力など認知機能低下・うつ（精神的）などがあります。

「フレイルの入り口は社会参加の減少から」といわれています。フレイルを予防するには次の3つの事を意識して行いましょう。1つ目は社会性とところの健康です。仕事や趣味、地域の活動など何かに没頭でき満足感の得られることを続けましょう。それらは認知症予防にも効果があります。2つ目は栄養とお口の健康、3つ目は運動です。この3つのフレイル予防に取り組んで、いつまでも元気で自分の家で暮らしていけるようにしましょう。

フレイルチェックの方法が知りたい方、地域の交流の場を紹介してほしい方、身近に心配な方がいるという場合は、お住まいの担当地域包括支援センターまでお問い合わせください。



江南中部地域包括支援センター（直通：0587-51-3322）



～臨床検査技術科のお仕事紹介～

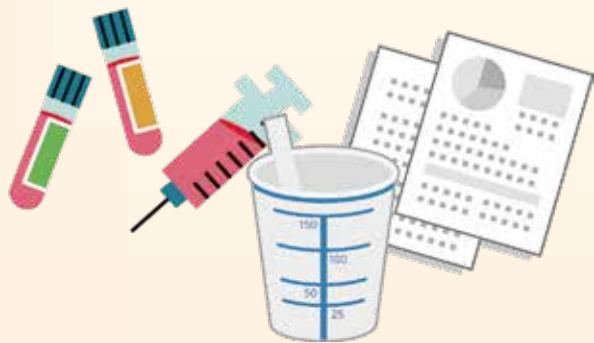
皆さんは、「検査」というと、何を思い浮かべますか？病院では様々な検査を行っていますが、なかでも血液や尿を採取し分析したり、心電図や超音波検査を行ったりするのが臨床検査技師の仕事です。臨床検査技師は365日24時間病院に常駐し、救急患者さんの検査に備えています。

患者さんから採取した血液、尿など（検体と呼ばれます）は、すぐに2階の中央検査室に運ばれ、各専門分野に分配した後、詳しい検査を行います。大半の検査項目は1時間以内に結果が出ますが、項目によっては結果報告まで1週間以上必要なものもあります。

近年は、様々な検査で自動機器が発達しており、当院にも多数の自動機器が導入されています。今日はその中でも最先端の機器として「質量分析装置」をご紹介します。

突然ですが、2002年にノーベル賞を受賞し話題になった、田中耕一博士はご存知でしょうか？田中博士が開発し、ノーベル賞を受賞した技術が質量分析装置の基礎となっています。この装置は、今まで24～72時間以上かかっていた、病原菌の名前を決める検査（同定と呼ばれます）を、わずか10分という短時間で可能にしたまさに革命的な装置です。この装置を使って素早く病原菌を同定することにより、より早く最善の感染症治療を行うことが可能になりました（ノーベル賞も納得ですね）。

患者さんから採取した血液、尿などの検体を通じて、安心安全な医療の提供、地域の健康増進に貢献できるよう、臨床検査技師は日々頑張っています。採血が痛くて嫌いという方も多いと思いますが、どうか少しでも、ご協力をお願い致します。



院内コンサート 🎵 🎵 🎵 Concert

毎月1回、13:30～ 2階の講堂で色々なジャンルのイベントを開催しています。入場無料ですので、お時間がある方は是非お越しください。

11月20日
(水)



菊八重会 大正琴コンサート

看護師・助産師 募集

< 看護部病院説明会 開催予定 >

令和3年4月採用の看護職員を募集します

9:00~12:00 (開場8:30) 江南厚生病院2階講堂にて

病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学など

参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。

2月15日(土)

3月21日(土)

3月28日(土)

4月11日(土)

5月9日(土)

6月20日(土)



採用試験は4月25日(土)・5月16日(土)・5月30日(土)・7月18日(土)に開催予定です。

2019年度 公開医療福祉講座

■ 場所：江南厚生病院 2階講堂

■ 時間：13:30~14:30 (受付13:00~)

お問い合わせは・・・江南厚生病院
「患者相談支援センター」堀田・梶原
TEL 0587-51-3310 (直通)

■ 日程と内容

1月24日(金)	安全に食べるために ~むせる、食べづらいとお悩みの方へ~	リハビリテーション科 言語聴覚士 中西恭子
2月25日(火)	在宅医療のおはなし	訪問看護 認定看護師 伊藤裕基子



申し込み不要
参加費無料

仲間やがん詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？

2019年度 がんサロン「にじの会」のご案内

●対象 がんを患っている患者さん
あるいは、そのご家族

●内容 10:00~10:30 フチ講座
(2か月毎に内容を変更します)
10:30~11:30 参加者同士の交流

●場所 外来2階 多目的室
※外来用エレベーター前

●参加方法 自由参加(予約不要)

日程とフチ講座のテーマ

日時	フチ講座：テーマ(仮)	担当
1/7(火)	抗がん剤治療の今 ~副作用と生活の工夫~	がん化学療法看護 認定看護師
2/1(土)、3/3(火)	アピアランスケアについて ~自分らしく毎日を送るための 外見ケア~	がん看護専門看護師

<お問い合わせ先> 患者相談支援センター：がん相談 TEL (0587) 51-3346 FAX (0587) 51-3317
E-メール: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

参加費
無料

土日完全週休2日制実施に伴う診療日変更のお知らせ

現在、国において「働き方改革」が進められている中、当院におきましてもこうした社会情勢を踏まえ、令和2年4月から完全週休2日制を実施することとなりました。

皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

1. 診療日：月曜日～金曜日(祝日・年末年始・8月15日除く)

※変更点 第1.3土曜日午前診療 → 全ての土曜日休診

2. 実施時期：令和2年4月より

3. その他：夜間・休日の受け入れについては、救命救急センター、救急外来においてこれまでどおり対応してまいります。

2020年(令和2年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

発行日/令和2年1月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL (0587) 51-3333 FAX (0587) 51-3300